

第 2 表

## サービス計画書（2）

利用者名

殿

作成日 平成 年 月 日

## 【期間】

- ・ 目標達成の期限
- ・ 開始時期と終了時期を書く
- ・ 終了時期には必ず評価を行う

## 援 助 内 容

生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	・ 終了時期には必ず評価を行う				援 助 内 容					
	長期目標	(期間)	短期目標	(期間)	サービス内容	※1	サービス種別	※2	頻度	期間
しっかり歩けるようになりたい	碁会所に行 って仲間と 囲碁を打つ	H○年○月○日 ～ H○年○月○日	杖をついてト イレに行け る。  囲碁に触れる 機会を作る	H○年○月○日 ～ H○年○月○日	【サービス内容】 ・ 短期目標を達成するための「段取り」 ・ 課題整理総括表の見通し欄を参考に、必要な援助内容を書く		【サービス種別】 ・ 介護保険サービスにとられない(保険給付は利用する社会資源の一つにすぎない) ・ 外の力を利用する場合は、これが一番よい場合		【頻度】 ・ 短期目標を達成するために必要かつ効果的な頻度	
【ニーズ】 自立に向けての意欲 生活上の目標 ～のようになりたい ～のようにする ～する	【長期目標】 ・ 生活のワンシーンを表現 ・ 長期目標の先に生活上の目標がある <u>もっとも「その人らしさ」を表します</u>		【短期目標】 ・ 長期目標を達成するための「過程」・「段取り」		[ 事例 ] 入院中の B 病院医療相談室よりの紹介。自宅退院のため居宅介護支援の依頼。 A さん 男性 77 歳 要介護 2 妻 (76 歳) と二人暮らし 障害高齢者の日常生活自立度：A2 認知症高齢者の日常生活自立度：自立 脳梗塞(初発) 高血圧症 左上下肢不全麻痺 リハビリテーション後、杖歩行可 主訴：本人 - 退院して家に帰れるのを楽しみにしています。 妻 - 退院後は夫と一緒に自宅で暮らしたいと思っています。 入院中、トイレまで間に合わず排尿の失敗が数回あった。 大手企業のサラリーマンとして定年まで勤めた。まじめで温厚な人柄。努力家、仕事熱心であった。 囲碁が唯一の趣味で、発症前は市内の碁会所に通っており、知人は多い。 近所づきあいは妻任せで、本人はあいさつ程度のつきあいであった。					【期間】 ・ 短期目標を達成するために必要なサービス内容の実施期間 ・ 計画したサービス内容は、同時に始まり終わるとは限らない(目標、サービス予定に応じた期間を設定する)
＜長期目標・短期目標＞ モニタリングの際に達成度が評価できるように具体的に書きます。(特に短期目標) “安心、安全、安楽、は明確な評価が難しいため、その人にとっての“安心、安全、安楽、とはどういうことかを具体的に書きます。										

※1「保険給付の対象となるかどうかの区分」について、保険給付対象内サービスについては○印を付す。

※2「当該サービス提供を行う事業所」について記入する。